

令和元年度

事務事業評価表 A (平成30年度の実績評価)

記入年月日
平成 31 年 4 月 16 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法令根拠. Includes details for '健康づくりの推進' and '母子保健法'.

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details about health promotion activities for children and staff procedures.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 5 columns: ①手段, ④活動指標, ⑤対象指標, ⑥成果指標. Includes data for '思春期教育の実施回数' and '思春期教育の実施人数' across 29, 30, and 01 fiscal years.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing input amounts (事業費) for 29, 30, and 01 fiscal years. Includes categories like 国庫支出金, 県支出金, 地方債, etc.

Table showing 30年度事業費実績 (千円) and 01年度事業費予算 (千円) with a total row at the bottom.

(4) 当該年度の実施内容

Table with 4 columns for 01, 02, and 03 fiscal years' implementation content. Includes a note about recording content and a list of activities like '市長マニフェスト'.

| | | | | | |
|-------|---------|---------|-------------|-----|-------|
| 事務事業名 | 思春期教育事業 | 事務事業No. | 10203000341 | 所属課 | 健康推進課 |
|-------|---------|---------|-------------|-----|-------|

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

| |
|--|
| (5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? H25年度児童虐待防止対策緊急強化事業の一環として、市内の小中学校の養護教諭と共に事業を進めていった。市と一緒に事業をするのは、学校側も数年なかったので外部講師が入ることで、学習内容の幅が広がり伝えられることが増えた。 |
| (6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 養護教諭より、継続して市と連携してやっていきたいと要望があった。 |
| (7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 改革改善を行う |

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

| | | |
|-----------|---|--|
| 目的 妥当性 | ①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) 結びついている | 生徒自身が自分を大切にできる自己肯定感を持つことで、大人になり困難な事が生じても強く前向きに生きていくことが出来る。 |
| | ②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) 妥当である | 学校と市が連携することで、よりよい性教育の充実が図れる。 |
| 有効性 | ③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) 向上余地がある | 市内小中学校の性教育の統一が図れるよう全校への導入を目指す。 |
| | ④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) 影響有 | 命の大切さを普及できる機会がなくなる可能性がある。 |
| | ⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか?(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合)⇒ 具体的な手段、事務事業名 余地がない | 類似事業がないため統廃合不可能。 |
| 効率性 | ⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) 削減余地がない | 職員で対応しているのが削減の余地はない。 |
| 公平性 | ⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) 見直し余地がある | 市内の一部の小中学校での実施であるため、全学校での導入を目指す。 |

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|----|----|-----|--|--|----|----|----|----|----|--|---|--|----|--|--|---|----|--|--|---|
| (1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ②有効性 □ 適切 ■ 見直し余地あり ③効率性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ④公平性 □ 適切 ■ 見直し余地あり | (2) 全体総括(振り返り、反省点) 対象者より命の尊さや性に関して学ぶことが出来て良かったとの声が聞かれている。市内一部の小中学校での実施であるため、全学校での実施を目指す。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (3) 今後の事業の方向性 □ 終了 ■ 継続 → ■ 改革改善を行う → (複数回答可) □ 廃止 □ 休止 □ 現状維持 (目的の再設定 □ 効率性の改善) (有効性の改善 ■ 公平性の改善) (統廃合ができる □ 連携ができる) | (4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) 成果表: <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table> | | | コスト | | | 削減 | 維持 | 増加 | 成果 | 向上 | | ○ | | 維持 | | | × | 低下 | | | × |
| | | | | コスト | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 削減 | 維持 | 増加 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 成果 | 向上 | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 維持 | | | × | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 低下 | | | × | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 前年度より思春期教育実施校が減少したため、開催について各学校と検討していく。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ② コスト削減優先度評価結果 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

| | |
|--|---|
| (1) 課長評価 課長確認後の評価 B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出 | (2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 |
|--|---|